

## たかはぎFMで職場体験



たかはぎFMでの職場体験に励む高校生3人（左側）＝高萩市春日町

# 高校生、出演や制作

高萩市のコミュニティ放送局「たかはぎFM」で、通信制の第一学院高校高萩校の3人が今月、インターシップとしてスタッフたちに交じり放送に参加している。パーソナリティーとなって音楽の選曲や紹介を行ったり、集大成となる特別番組の企画・編集に挑戦。1カ月間の成果は12月上旬に放送される。

たかはぎFMは東日本大震災後に臨時災害放送局として放送をスタートし、2013年4月にNPO法人「たかはぎFM」を立ち上げてコミュニティ放送局に移行。朝夕に番組を持ち、スタッフ12人で地域の情報発信を担っている。ラジオの仕事に触れてもらうとともに「就職活動で履歴書に書けるような体験内容にしたい」（鈴木拓雄同NPO理事長）と、初めて1カ月間の長期職場体験を実現させた。インターシップに参

## 来月、特別番組放送も

加している1〜3年の3人それぞれ週2日の午前中、市総合福祉センター2階の放送スタジオに出勤。各自パーソナリティーとしての名前を乗って昼の番組に登場し、選んだ曲とその紹介を届けている。声を使う仕事に興味があるという渡辺智洋さん（2年）は「パーソナリティーの仕事はしゃべるだけでなく、曲の紹介や番組の構成も考えていることが分かった」と、憧れの仕事を楽しむ。並行して、3人は共同で30分の特別番組を制作中。1人10分を受け持ち、オリジナルコーナーを企画して収録、編集まで手掛ける。加藤憂華さん（1年）は学校紹介をテーマとし、他の2人に学校生活を尋ねるインタビューをスタジオ録音した。頑張る学生たちにスタッフたちも話すスピードや相づちなどをアドバイス。加藤さんは「顔が見えない中で声だけで伝えるのは難しい。夢は美容師だけれど、お客さんとうまくおしゃべりできるようにになりたい」と笑顔を見せた。鈴木理事長（42）は「子どもたちにはいろんな経験をしてみたい」と話している。特別番組の放送は12月1日と5日の午前9時から同9時半、3日の午後2時から同2時半の3日間。たかはぎFMの周波数は76.8メガヘルツ。（市毛雅奈子）

